

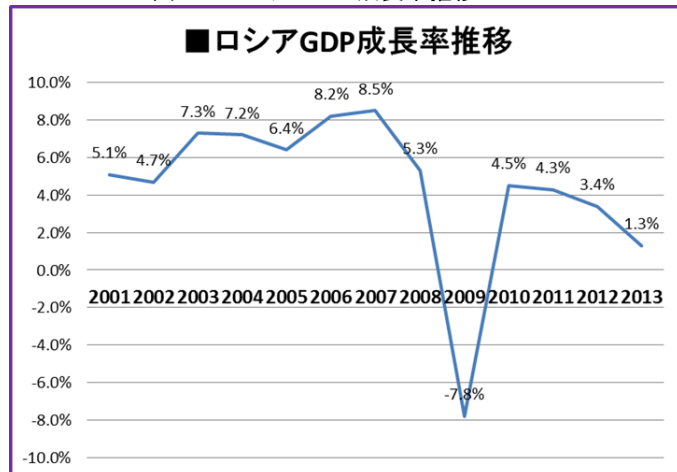
## ロシア経済を取り巻く環境の変化

クリミア危機が起きる前からロシア経済は減速していた。ソチオリンピック関連施設やノルドストリームガスパイプラインなどの大型インフラ整備が一段落し設備投資が減少したことや、個人消費が伸び悩んだことから2013年にはGDP成長率は1.3%まで下がった。

2014年に入ってから、ウクライナ危機へのロシアの対応に対する欧米による経済制裁や、原油価格の急落、これと連動するルーブルの急落など、ロシア経済を取り巻く環境は変化しており、GDP成長率はさらに落ち込む懸念がある<sup>1</sup>。

本メモでは、ロシア経済を取り巻く経済環境の変化とロシア政府の対応などについてまとめる事と致したい。

図1：ロシア GDP 成長率推移



出典：ロシア連邦統計局のデータを基に CIPPS で作成

### 1. 欧米による経済制裁

#### (1) 経済制裁の概要

ロシアに対する欧米による主要な経済制裁の概要は以下である<sup>2</sup>。

##### (1) 金融取引の制限

ロシアの代表的な金融機関やエネルギー企業、軍需産業企業が、米国や欧州の債券市場や株式市場で期間90日以上の新規の資金調達を行うことを禁じる。

##### (2) エネルギー資源開発用製品・技術の輸出の制限

深海や大陸棚のエネルギー資源の探索や生産に係る装置や技術の輸出を禁じる。  
(ただし、欧州は天然ガスに関する技術を除外)

##### (3) 軍事製品や軍事・民用両用製品、及びこれらに対する技術援助や資金援助の制限

ロシア軍やロシア軍のエンドユーザーに対する、軍事製品や軍事・民生両用製品に対する技術援助や資金援助を禁じる。

<sup>1</sup> 今月、ロシア連邦中央銀行は2014年のGDP成長率を0.3%に下方修正した。

<sup>2</sup> 2014年8月5日付「ロシア関連メモ 105 EUによるロシア経済の強化」を御参照。

## (2) 経済制裁による影響

欧米による経済制裁は、ロシア経済に対して明らかに影響を及ぼし始めている。

### ① ロシアの金融機関やエネルギー企業の資金調達に対する影響

欧米金融市場における資金調達制限によってロシアの金融機関やエネルギー企業の資金調達に影響が出ており、一部企業は国に資金援助を要請している。ロシア最大の国営石油会社ロスネフチは、8月に、1.5兆ルーブル（約3.7兆円：1ルーブル=2.45円）の金融支援を政府に要請した。また、ロシア農業銀行とガスプロムバンクも、8月に合計で1,170億ルーブル（約2.8千億円：1ルーブル=2.45円）の金融支援を政府に要請している。制裁を受けているロシア企業はロシア経済を牽引する主要企業である。プーチン大統領は、制裁を受けた金融機関や企業に対して増資などにより資金援助を行い、これらを支援する意向を示した<sup>3</sup>。

一方、ロシアは中国との経済協力関係も強化している。経済制裁以前から強化は行われていたが、経済制裁により一層拍車がかかった。2009年には東シベリアから年間1,500万トンの石油を20年間中国に供給する合意に関連して、中国国家開発銀行がロシアの石油会社に対して250億ドルの融資を行うことについて合意された。また、2013年にはヤマル半島のLNGプロジェクトに対して、CNPC:中国国営石油会社による20%の出資が行われた。

2014年5月にロシアと中国は、期間30年間、総額4,000億ドルに及ぶ長期の天然ガス供給契約に同意したが、その際、新ガス田の開発やガスパイプラインの敷設にかかる総額750億ドルに及ぶ費用のうち200億ドルを中国が負担することも約束された。2014年9月には、ロスネフチが中国にバンコール油田事業への参加を求めた。さらに、2014年10月の中国の李克強首相のモスクワ訪問時に、金融、エネルギー、貿易など38項目について合意がなされたが、これには、中国輸出銀行によるVTB銀行とロシア開発対外経済銀行に対する融資枠の付与が含まれていた。

### ② エネルギー開発に対する影響

北極海や東シベリア、極東地域など自然環境の厳しい地域での新規エネルギー開発には、探索や採掘などにおける欧米の先進技術が不可欠とされる。先進技術の導入に対する制限によって新規プロジェクトに影響が及ぶことが懸念される。

例えば、米国大手石油会社のエクソンモービルは、2014年9月19日に、北極海のカラ海地域油田<sup>4</sup>の探索用井戸の操業を停止するというコメントを出した<sup>5</sup>。

プーチン大統領は、「海外に技術を過度に依存している分野において集中したリサーチを行う。」とコメントした<sup>6</sup>。ロシア政府は急速な自国技術の向上を目指している模様である。

<sup>3</sup> 本メモ15ページ 御参照

<sup>4</sup> 埋蔵量はサウジアラビアが現在保有する資源総計に匹敵するとの試算もある大規模な石油・ガス田。ロスネフチがエクソンモービルと共同で開発が行われてきた。

<sup>5</sup> 参照：エクソンモービル社サイト ExxonMobil Statement on Treasury Department Sanctions on Russia Sep 19

<sup>6</sup> 本メモ14ページ 御参照

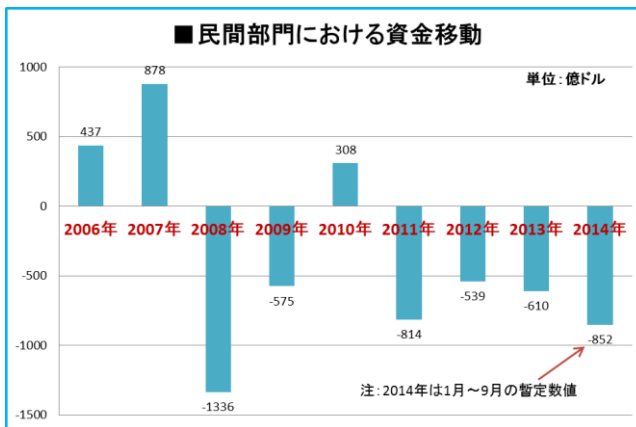
### ③ 民間部門における国外への資金流出

ロシアの民間部門における国外への資金流出が加速している。ロシア連邦中央銀行によれば、9月までの9か月間ですでに2011年の1年間の数値を上回る852億ドル相当の資金が海外に移動している。

ロシア連邦中央銀行は、最近、今年の資本純流出額の見通しを1,280億ドルに引き上げた。

ロシア政府は、資金流失に歯止めをかけるべく、ロシアのビジネス環境を改善するための制度的方策を法制化し、規制業務や監督を行う組織の開放性、透明性を高めようとしている。プーチン大統領は、「ロシアの目標は、ロシア経済を非官僚的なものに変え、ロシア国内や海外の民間投資を惹きつけるためにビジネス環境を改良し、条件を整えることである。」とコメントしている<sup>7</sup>。

図2：民間部門における資金移動



出典：ロシア連邦中央銀行のデータを基に CIPPS で作成

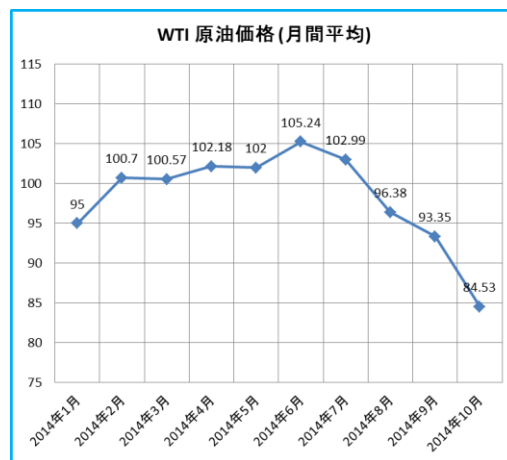
## 2. 原油価格の下落

9月以降原油価格が急落している。輸出の約半分を原油輸出が占め、また、国家収入の多くを原油関連税収に依存しているロシアの財政に大きな影響が及ぶものと考えられる。

### (1) 原油価格の下落について

国際原油価格の代表的な指標である WTI<sup>8</sup>は、2014年6月には1バレルあたり約105ドルの水準にあったが、その後下落し、10月の平均価格は6月比約20%減の約84.5ドルの水準まで下がった。

図3：WTI 原油価格推移



出典：米国エネルギー情報局のデータを基に CIPPS で作成

### (2) 原油価格急落の原因

原油価格急落の原因として、まず、米国のシェールオイル生産の急増により供給圧力が増加したことが挙げられる。

一方、景気後退により中国や欧州における原油需要見込みが減少しており、供給増加と合わせて見込まれていた需給バランスが大きく崩れている。

また、従来であれば率先して生産調整を行い

<sup>7</sup> 本メモ 19 ページ 御参照

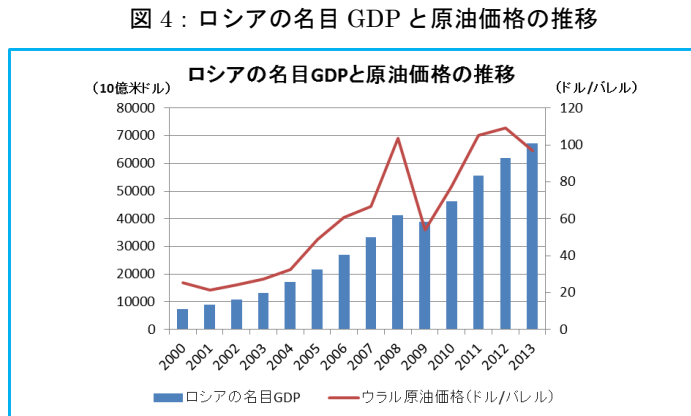
<sup>8</sup> WTI：West Texas Intermediate 米国の原油価格指標

石油価格安定化の中心となっていたサウジアラビアが、供給先の確保<sup>9</sup>や対立するイランを経済的に追い込む<sup>10</sup>ことを狙って生産調整に動き出さないことも価格急落に拍車をかけている。2014年1月27日に予定されているOPEC総会で価格調整につながる減産の方針が打ち出されるのか注目される。

### (3) ロシア経済への影響

ロシアの名目GDPは、図4に示すように、原油価格とほぼ連動するように推移してきた。ロシアの財政均衡石油価格は1バレル100ドル程度と言われている。

2015年から2017年の連邦予算については従来1バレル104ドルの水準を前提とされていたが、9月に1バレルあたり96ドルの水準で見直



出典：ロシア連邦統計局などのデータを基にCIPPSで作成

しが行われ、その結果GDPの0.5~0.6%の財政赤字になることが予想されている<sup>11</sup>。

原油に対する輸出関税率は、ウラル原油が1バレルあたり25ドルを超える現在、「税率 = 4 + (ウラル原油価格 - 25) × 0.65」という、ウラル原油価格が高くなるほど税率が高くなる計算式に基づいて算出されている。仮に原油価格が100ドルから80ドルに20%減少した場合、この算式に拠れば、税額は52.75ドルから31.8ドルに約40%減少すると計算され、原油価格の減少率以上に国家収入の減少率が大きくなる計算式である。1バレルあたり80ドルという現在の水準が継続すれば、大幅な歳入の減少が見込まれる。

一方、自然環境が厳しく開発に資金がかかる北極海や極東地域における新たな油田の開発は、採算性の悪化により大幅な見直しが行われる可能性がある<sup>12</sup>。既存の大規模油田の埋蔵量が減少している中で新規の油田開発のペースが鈍ることになれば、ロシアの原油総生産量が減少しかねず、ロシアの長期経済計画にも大きな影響が出るものと考えられる。

## 3. ルーブルの下落

### (1) 対ドルルーブル価格の推移

ウクライナ危機の影響により下落したルーブルであったが、情勢の鎮静化に合わせて、いったん回復基調となった。しかし、2014年7月以降、原油価格の急激な下落に同調するように急速にルーブル安が進んでいる。11月に入っても下落は止まらず、1ドル=46ルー

<sup>9</sup> 供給者が増加したため、いったん供給を減らすと別の供給者が入り込み生産を回復してもシェアは回復できなくなることが警戒されている

<sup>10</sup> イランの財政均衡石油価格は1バレル130ドル程度と言われ、現在の水準が続けば財政に大きな影響が及ぶと考えられる

<sup>11</sup> 本メモ12ページ 御参照

<sup>12</sup> 例えば北極海のプリラズロムノエ油田については、1バレルあたり100ドルを超えないと採算が取れないと言われて

ブルの水準を超え、年初の水準（1ドル＝約34ルーブル）に比べて約26%も下落した。

図4：対USD ルーブル推移

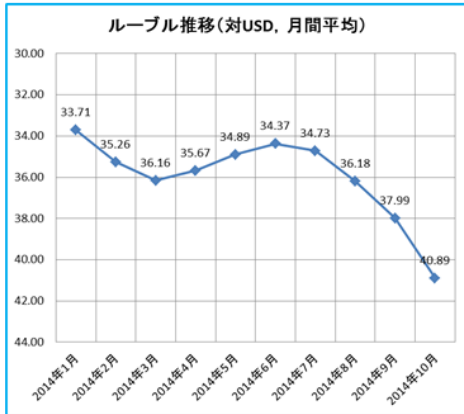
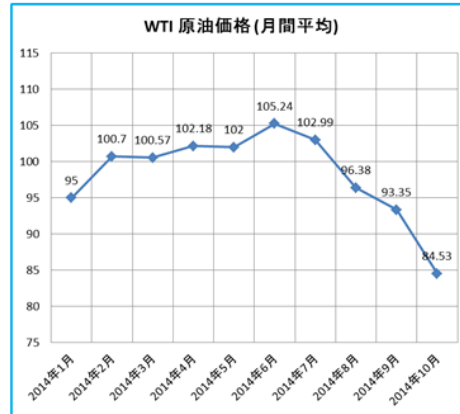


図3：WTI 原油価格推移（再掲）



出典：Exchange Rate U.K.のデータを基に CIPPS で作成

出典：米国エネルギー情報局のデータを基に CIPPS で作成

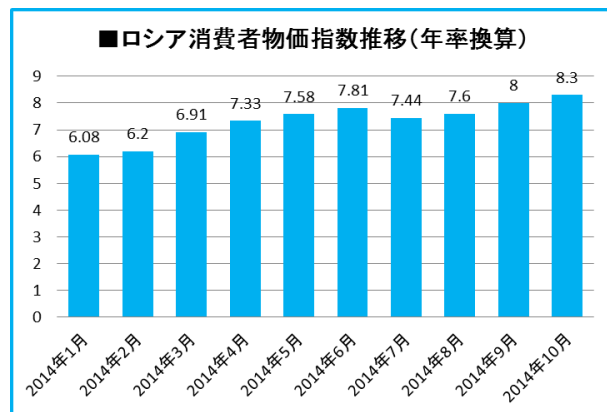
## (2) ロシア経済への影響

### ① インフレ進行

ルーブル安による輸入製品の値上がりに加え、欧米の経済制裁に対する対抗策として実施された欧米からの一部の農作物の輸入制限による食料品の値上がりもあり、物価が上昇している。

ロシアの消費者物価指数は9月には8%を超え、今年は年間で7.5～7.6%になる見込みである<sup>13</sup>。物価上昇に伴う消費マインドの冷え込みが懸念される<sup>14</sup>。

図5：ロシア消費者物価指数推移



出典：Trading Economics のデータを基に CIPPS で作成

### ② 金利の上昇

後述のように、ロシア連邦中央銀行は、ルーブル安対策として年初より4回にわたり政策金利を引き上げた。金利の引き上げが、個人の住宅購入マインドや企業の設備投資マインドの冷え込みにつながることを懸念される。

## (3) ロシア政府の対応

ロシア政府は様々なルーブル防衛策を実施している。

<sup>13</sup> 本メモ 12 ページ 御参照

<sup>14</sup> マークライズが伝える欧州ビジネス協会公表数値に拠れば、新車販売が鈍化している。9月に導入された新車買換え支援策により10月に前年同期比の新車販売台数が前年同期比9.9%減の水準に回復するまで、ロシア新車販売台数は7月に22.9%減、8月に25.8%、9月に20.1%と大幅に落ち込んだ

### ① 政策金利引き上げ

ロシア連邦中央銀行は下記のように、年初来 4 度にわたりルーブル防衛のための政策金利の引き上げを実施した。

表 6：ロシア政策金利推移

実施日	内容	引上げ幅
2014 年 3 月 3 日	5.5% ⇒ 7.0%	1.5%
2014 年 4 月 25 日	7.0% ⇒ 7.5%	0.5%
2014 年 7 月 25 日	7.5% ⇒ 8.0%	0.5%
2014 年 10 月 31 日	8.0% ⇒ 9.5%	1.5%

■CIPPS で作成

### ② 変動相場制への移行

従来、ロシアは、ドル 55%、ユーロ 45%の組み合わせとした通貨バスケット制を採用し、ルーブルを許容された変動幅内に維持するために、ロシア連邦中央銀行が外国為替市場に介入を行って来た。

ルーブル安が進行する中、ロシア連邦中央銀行はルーブルの買い支えにより外国為替市場に介入を行って来たが、2014 年 11 月 5 日、ロシア連邦中央銀行は、1 日の介入総額を 3.5 億ドルに制限する旨を公表した。さらに 11 月 10 日、通貨バスケット制度を廃止し国際為替市場に委ねる変動相場制度に移行すると発表した<sup>15</sup>。(ただし、為替介入を完全に止めるわけではないとも表明している) これには、ロシア連邦中央銀行による介入を見越した投機的な動きを封じ込めるという思惑もあったものと考えられる。

### ③ ドル以外の決済への移行

一方、米ドルへの依存を減らすために、原油販売などにおけるルーブル建てによる決済が推進されようとしている<sup>16</sup>。また、中国との貿易における人民元建て決済の拡大も検討されている。2014 年 10 月には、金融市場での緊急時に自国通貨を融通し合う期間 3 年、規模 1,500 億元の「通貨スワップ協定」もロシアと中国の間で締結されている。

## 4. 所見

従来の油田・ガス田の消費が進む中、生産量維持のための北極海や東シベリア、極東地域における新たな鉱床開発が不可欠なロシアにとって<sup>17</sup>、欧米金融市場からの資金調達や欧米の先進技術導入を妨げる欧米の経済制裁は大きな障害となりつつある。特に欧米の先進技術の導入の制限は、新規鉱床開発計画に大きな遅れを生じさせ長期的なロシア経済の発展を損なうものであり影響は大きい。経済制裁緩和のため、欧米と対立しているロシアの

<sup>15</sup> 参照：ロシア連邦中央銀行 プレスサービス

<sup>16</sup> 本メモ 13 ページ 御参照

<sup>17</sup> CIPPS ロシア関連メモ 106 御参照

ウクライナへの関与の在り方を根本的に見直さなければならない時期が来ている。

中国は北極海や東シベリア、極東地域で開発が見込まれるエネルギー資源の販売先として重要度を高めてきたが、資金調達面からのニーズも加わり、ロシアは、今後も中国との経済的な関係強化を志向していくものと考えられる。

一方、世界的な原油価格の急落は、原油輸出に大きく依存するロシア国家財政に大きな影響をもたらすことは必至である。原油価格の急落については様々な要因が絡んでおり、1バレルあたり80ドル前後の水準が恒常化する可能性もある。その場合、財政バランスの適正化のために、近年増額されてきた軍備費や社会保障費を始めとした財政支出の見直しが必要となると考えられる。

ルーブル安については、経済制裁や原油価格の下落により今後のロシア経済への不安が高まり資金流出につながっていることや、米国の金融緩和による国際的な新興国からの資金流出の流れがあることを勘案すれば、水準回復には時間がかかると考えられる。ルーブル安によるインフレの進行や、ルーブル防衛のために行われる政策金利の引き上げは、国民の実質的な生活水準低下をもたらし、政府への不満が高まることによって、クリミア編入により高まっていたプーチン政権に対する支持率は低下して行くものと考えられる。

ロシアは今大きな転機を迎えている。プーチン大統領が、これらにどのような手腕を振るって対応して行くのか、今後も注視して行きたい。

## 5. 参考資料：第4回「Russia Calling! 投資フォーラム（2014年10月2日）」におけるプーチン大統領の演説及び質疑応答<sup>18</sup>

### (1) 要点

2014年10月2日にVTB銀行グループ傘下のVTBキャピタル主催の投資フォーラムにプーチン大統領が出席し演説及び質疑応答を行った。

演説や質疑応答には、最近のロシアの経済状況やそれに対するプーチンの考えが示されている。特に留意すべき点を以下にまとめる。

#### ① 財政状況について

- ・ 2014年については、8月までの財政黒字は、昨年同期比2倍のGDPの2%の9,000億ルーブルを計上している。しかし、2015年から2017年までは原油価格を1バレルあたり96ドルの水準としてロシア連邦予算を計画しており、GDPの0.5~0.6%の財政赤字になることが予想されている。
- ・ ロシアは、2012年に定めた経済成長目標を変えるつもりはない。一方でそれを達成するための方策を探したり、その他の方策を用いて目標に近づこうとしている。

#### ② インフレについて

- ・ インフレ率については年末までに7.5%から7.6%になる見込みである。その主な要因は食料品の値上がりである。

#### ③ 経済活動に対する国による制限について

- ・ 税負担の増加や、通貨取引や資本移動に対して制限を設けることは考えていない。

#### ④ ルーブル安に対する対応について

- ・ ロシアは、エネルギー資源の貿易や中国など海外諸国との経済的な取引においてロシアルーブルを積極的に利用しようとしている。
- ・ ロシア中央銀行の変動相場制に移行しようとする動きは、為替相場に対する介入がなくなるということを意味するものではない。

#### ⑤ 経済制裁への対応について

- ・ 読み取り支払装置とプラスチックカードを用いてロシア領土内で決済が行えるシステムを開発した。2015年には国際的なシステムから独立したインフラによる国のプラスチックカード決済システムを構築する。
- ・ 工作機械や道具の製造について、海外に過度に依存している分野で集中的なリサーチを行う。

<sup>18</sup> 参照：ロシア大統領府サイト <http://eng.kremlin.ru/transcripts/23035>



- ・ 工業や農業に関係する企業がプロジェクトファイナンスのような手法による低利融資を利用することを可能とする。
- ・ VTB 銀行に対して、少なくとも 300 億ルーブルの増資を行う。また、制裁に関連する企業に対して増資を行うことによってこれを支える用意がある。
- ・ 制裁の影響で資金調達コストが上がり国際的市場から資金を集めることが困難になっているが、国債の発行により対応し始めている。国債の発行残高は歴史的に非常に低い水準にあるが、ロシアは慎重に取り組む。結局のところ、流動性資金の増加やその他の金融的な手法を用いても成長にはつながらず、ロシア連邦経済の構造改革によってのみ成長が見込まれるのである。

#### ⑥ 国際的な経済の結びつきの拡大と多様化の推進について

- ・ ロシアは、国際的な経済の結びつきの拡大と多様化を継続する。ロシアの優先事項の中には、ラテンアメリカや、アジア太平洋地域、中国やインドを含む BRICS 諸国との重要なビジネスや、貿易、投資、技術的パートナーシップが含まれている。
- ・ 2015 年 1 月にユーラシア連合の契約が実現し 1 億 7 千万人のマーケットが創造される。
- ・ ロシアは、ユーラシア経済共同体と、ヨーロッパやアジアの統合された機構との間に緊密なつながりを創造することを望んでいる。
- ・ BRICS は、共同の通貨準備基金と銀行を創立することに同意し、各国の通貨の安定と、共同の大規模プロジェクトの開始を見込んでいる。
- ・ ロシアはヨーロッパとの伝統的な関係を縮小しようとはしない。EU は 4,300 億ドルを超えるロシアの最大の貿易相手である。

#### ⑦ ロシア経済の活性化について

- ・ 今後数年間におけるロシアの目標は、工業的なブレークスルーを実現し、競争力のある製品を生産することのできる強力な企業を生み出すことである。
- ・ 農業分野についても、輸入に頼っている分野で農業生産を増やし、高い付加価値の農業製品を供給することにより国際市場における地位を強化することを期待している。
- ・ 2015 年には、経済やインフラを近代化するための産業振興ファンドを開始する。
- ・ ロシアのビジネス環境を改善するための制度的方策を提案する。規制業務や監督を行う組織の開放性、透明性を高める。ロシアの目標は、ロシア経済を非官僚的なものに変え、ロシア国内や海外の民間投資を惹きつけるためにビジネス環境を改良し、条件を整えることである。
- ・ 効率的で競争力のあるプロジェクトについては、ロシア中央銀行による政策金利プラス 1 % の水準で VTB やその他の類似の金融機関から資金を調達することが出来ることを連邦政府が保証する制度が必要である。

⑧ ロシア中央銀行の役割について

- ・ ロシアを含む各国の中央銀行の主な目的は、国の通貨の安定性を保つことであり、インフレ率の引き下げ無しにそれを行うことは不可能である。
- ・ 中央銀行の政策は究極的な安定であり、中央銀行はどのような教義（ドグマ）にも縛られない。市場介入が求められれば、それを行う。その政策は一貫しており極めて柔軟である。

⑨ ウクライナへの対応について

- ・ ロシアは、ウクライナがかなりの政治的、経済的危機にあるとみている。ウクライナの経済や、政治、社会部門を立て直すことはロシアの関心事である。ウクライナが政治的、経済的な危機から抜け出す方法を探し出すのを手伝えることは、ロシアの国益でもある。ロシアは信頼のおける予測可能なパートナーや隣人を望んでいる。
- ・ ウクライナにいるすべての人が、国のどこにしようとも、同様に全権利を保有するべきであり、誰もが言語や民族や宗教の背景によって差別されるべきではない。これが国の領土の整合性を保ち、統一を保持し、社会経済的な発展を保証するための唯一の方法である。ロシアはそうなることを強く望み、その助けのために全力を尽くす。

## (2) 仮訳

フォーラムにおける討議は、最近の国際環境とロシアに対する経済制裁を考慮し、ロシア市場への国際的投資家の勧誘とロシア経済における投資の増加に焦点が当てられた。

### プーチン大統領による演説：

皆さん今晚は、VTB キャピタル主催の「Russia Calling! 投資フォーラム」に皆様をお迎えすることを喜ばしく思います。伝統的にこのイベントには各国の実業界の代表の方々や、投資ファンドや国際的企業の首脳の方々が出席されます。

皆様の多くはロシアで働かれており、この国で仕事を行うことの可能性や長期間の繁栄について良いアイデアをお持ちだと思います。私たちは、現在の政治的、経済的な状況にも拘らず、皆様が私たちと包括的で誠実な対話を行い、建設的に協力しようとされていることに感謝いたします。

御存じのように、フォーラムの初回は 2009 年に開催されましたが、当時私たちは世界的な経済危機を経験していました。しかし、それは私たちの共通の将来計画をくじくものではありませんでした。私たちが信頼し合いパートナーとして協働することによって、多くの計画が実施され、事業になりました。多くの投資家や我が国のパートナーがロシア社会の様々な部門で投資を増やしたことも強調させていただきます。

皆さん、私たちは WTO の原則を共有しています。私たちはロシアを開かれた市場経済として発展するように努力してきました。この基本方針は変わることはありません。

私たちは徐々にロシアが直面する課題を克服して行きます。外部の規制はロシア経済ばかりでなく全世界に不利益となる影響を及ぼします。しかし、それは、経済成長や、産業やインフラの性能向上、雇用創出、ロシア国民の生活レベルの向上などの、私たちの国の発展における最優先分野の目標に対する私たちの思いを強くするだけです。

実際に状況はより複雑化しています。しかしこれが私たちを刺激し、私たちが目標をより短期間に達成しあらゆる分野で効率的に取り組むために、資源を集中させ、最適な解決策を選択させるのです。

従来通り、私たちの活動は、バランスのとれたマクロ経済と予算政策に基づいています。今年の出来事によって、私たちが何年も前に行った選択が正しかったことをもう一度確かめることが出来ました。

外部の複雑な状況にも拘らず、今年に入ってから 8 か月の財政黒字は GDP の 2%にあ

たる 9,000 億ルーブルにのぼります。これは昨年同期に比べて倍です。私たちは、予算規則に従い、石油やガスによる収入の一部を予備資金に移します。それは今では GDP の 9% にまで増加しています。

インフレについては、年末までに 7.5~7.6%になる見込みであり、6.5%であった 2013 年よりも高くなっています。原因は明らかで、食料品の値上がりです。これは、私たちにとって私たちの農業を発展させる刺激になります。一方、貨幣的なインフレーションは計画された 5%を超えることは無いことをお伝えします。

2015~2017 年までのロシア連邦予算では、原油価格を 1 バレル 96 ドルの水準として、GDP の 0.5~0.6%の財政赤字になることが予想されています。これは固定した基本指標であり、社会政策を含む全ての予算の義務の順守を可能とするものです。

私は、これらの困難にも拘らず、企業に対する増税は行わないことを強調いたします。私たちは、税負担の増加や、流通通貨の取引や資本移動に対して制限を設けることは考えていません。

確かに、私たちは通貨市場における急激な変動を目にしています。様々な意見がありますが、最も重要なことは、私たちの安定性を支える基本的な要因はとても強固で信頼のおけるものであるということです。財政黒字の国家予算や、かなりの準備金、強固な国際収支があるのです。現在の為替取引は、私たちが予想していたよりも高い水準で行われています。

私は、ロシア中央銀行が、金融の安定性を保持するために十分な方策を有していることを強調します。ロシア中央銀行の変動相場制に移行しようとする動きは、為替市場に対する介入が無くなるということ意味するものではないことを強調いたします。皆さんが最近これを目撃されたことと思いますが。

一方、私たちは最も不安定な分野で起こりうるリスクから私たち自身を守らなければなりません。私たちは、特に金融面で一層安全域を拓ける必要があります。

私たちはすでに、ロシアの銀行が接続されていない場合でも働きうる、読み取り支払装置とプラスチックカードを用いたロシア領土内で決済を行えるシステムを構築しました。2015 年には、国際的なシステムから独立したインフラによる、国のプラスチックカード決済システムを構築します。それは唯一のオペレーションセンターと独自の支払装置を有します。それは、ロシア国民によって行われる支払いの安全と秘密を保証します。

私たちは、国際的な経済の結びつきの拡大と多様化を継続いたします。私たちの優先事項の中には、ラテンアメリカや、アジア太平洋地域、中国やインドを含む BRICS 諸国との重要なビジネスや、貿易、投資、技術的パートナーシップが含まれています。

御存じのように、5月の中国訪問時に、ロシアと中国の間で、何百億ドルにも及ぶ経済的な契約が行われました。それには30年間に及ぶロシア産ガスの中国への供給も含まれています。その実施のために必要とされるインフラは世界中で最も大きなプロジェクトになります。これはエネルギー分野に限られたことではなく、私たちは他の分野でも協力しようとしています。

ガスプロムが原油の供給をループル建てで行なったのはごく最近のことであることをお伝えいたします。私たちはエネルギー資源の貿易や中国やその他の国々との経済的な取引においてロシアループルを積極的に利用しようとしています。ご存知のように、関連するメカニズムが BRICS 諸国の中でも創造されました。

私たちはロシアループルの利用を、リスクを軽減し、経済活動に参加する機会を創造し、地域的な統合を推進するための重要なメカニズムであると考えています。2015年1月にはユーラシア連合の契約が実現します。これによって、物資やサービス、資金の自由な移動が行われる1億7千万人のマーケットが創造されるのです。このプロジェクトは国内企業や海外投資家の両者にとって顕著な恩恵をもたらすこととなるでしょう。

カザフスタンやベラルーシはまだですが、ロシアが WTO のメンバーであることを思い出してください。それにも拘らず、ユーラシア同盟で私たちが築き上げようとしている原則は全て WTO の規則や原則に従うものです。従って、私は海外のパートナーがこの共同市場で活動することがとても易くなっていると思います。

私たちは現在アルメニアのユーラシア経済共同体への参加プロセスを終えようとしています。一方キルギスタンとは活発に交渉を続けています。私は、徐々にこの連合のメンバーが増えていくことを確信しています。同時に、私たちは、ユーラシア経済共同体と、ヨーロッパとアジアの他の統合された機構との間に緊密なつながりを創造したいのです。そのような協力は、世界経済に安定をもたらします。この種の会話は、特に私たちの最大のパートナーである EU にとって重要です。

海外との貿易を発展させ、輸出を活気づけ、統合的なプロジェクトに参加することとともに、私たちはロシアの競争力のある技術や国内市場を最大限に活用することを考えています。経済規模は世界で第6位にランク付けされています。今後数年間における私たちの目標は、工業的なブレークスルーを実現し、競争力のある製品を生産することのできる強

力な企業を生み出すことです。

私は、ロシアの多くの地域が加工業においてよい結果を示していることをお伝えいたします。地域によっては、年初来 8 か月の間の産業の伸び率は 10%を超えています。かつてないほど多くの地域が利益のある投資プロジェクトに興味を示しています。

国内の農業や食品産業にも良い見込みがあります。私は、今年の作物見込みを鑑み、ロシアが世界の穀物輸出のリーダーの一つとしてその地位を上げることを確信しています。私たちはロシアの起業家が、私たちがまだ輸入に頼っている分野で農業生産を増やし、高い付加価値の農業製品を供給することによって国際市場における地位を強化することを期待しています。

ここで、工作機械や道具の製造についてお話いたします。最近の情勢は、私たちが海外のパートナーに技術を過度に依存している分野において集中したリサーチを行わなければならないという強力な要因を生じさせました。これは、特に私たちが現在輸入している重要な技術において優先的に適用されます。工業や農業に関するプロジェクトは、プロジェクトファイナンスのような手法による低利融資を利用することが可能になります。皆様方の多くは、それらの長期の低金利融資がどこにあるのか疑問に思われるかもしれませんが。私たちは常時これに従事しており、効率的な実施こそが課題なのです。プロジェクトファイナンスもそのような長期の手段となりうるものです。課題はプロジェクトそのものの重要性や有望性、効率性にあります。

また、私たちは 2015 年に産業振興ファンドを開始します。経済やインフラを近代化するために私たちは自分自身の資金源や資金調達手段を用い、外国の投資ファンドや銀行と私たちの関係を強化しようとしています。ロシアの重要な金融機関は信用を失っていません。これはロシアの直接投資ファンドの実績からも明らかです。それはすでに共同プロジェクトに対して 150 億ドルを誘致しました。

今後 3 年間の予算においてロシア直接投資ファンドに対する増資が決められています。ファンドの資産に対する再補充が 2016 年から 2017 年に行われます。私はこのファンドに予定通り増資が行われ、対象のプロジェクトの範囲が広がることをお伝えいたします。

私たちはまた、ロシア対外経済活動発展銀行の増資を予定しています。今年から始まり、少なくとも 300 億ルーブルの増資が行われる予定で、資金はすでに用意されています。国内経済におけるこの銀行の貢献の大きさを取り戻すために、本銀行は要求された流動性を有することとなります。

その他、国は不公正な海外の制裁に関連する部門や企業を支える用意があります。私たちは、増資によってそのような企業、特に金融機関を助けようとしています。

次に私たちはロシアにおけるビジネス環境を改善するための制度的方策を提案します。私たちは実業界と共に、連邦と地方政府の両方のレベルで重要な法制度の改正を行い、行政手続きの多くの障害を取り除き効率化を行って来ました。国際的機関による調査では私たちがこの点で大変進歩したことが確かめられました。しかし私は重要なことはレーティングではなく、ロシア連邦の限定された地域において投資家がどれだけ快適に感じるかということだと思えます。

私はこの秋の国会において、ビジネス環境を改善するための国の企業政策の骨組みに関する残りの法案が承認されることを期待しています。私はこの機会に、議員の皆さんに法案を建設的に遅れなく確認して頂きたいと思っています。100の法案の内30はまだ関係する官庁によって検討されているところです。すでに多くの取組が行われ、まだ行われなければならない仕事もありますが通常通りにこれに対応していきます。

規制業務や監督を行う組織はより開放され透明性を高めています。これについてはまだ多くの課題がありますが、明確な進展もあります。ビジネス活動監査に関する連邦のウェブサイトはすでに準備されています。起業家や一般の人々は、監査当局がどのような監査を何のために行うのか、そしてより重要なことですが、その結果を見ることが出来るようになります。

私は、私たちが実業界とパートナーとして協働しているということを強調いたします。先導的なビジネス連合や組織の関与なしに実業界に関わる決定が行われることはありません。一方、実業界自身も私たちの決定の実際の実施を絶えずコントロールしています。監査の結果については大統領府やロシア政府から入手できます。

国が行うロシア地域の投資環境のランク付けは起業家の意見に基づいています。これは、好ましいビジネス風土や環境を創造するために最も効率的な方法を見出し、普及させることに役立っています。地域のマネジメント実施の競争がロシア連邦の各地域に投資家に対してより良い条件を創造するための刺激になっていることも付け加えます。同時にこれは国全体のダイナミックな発展につながるのです。

皆さん、私たちは根気強く私たちの目標に向かって進んでいます。私たちは真摯に世界に開かれた強力で繁栄した自由な国を築くことを望んでいるのです。私はこの目標に対する皆さんの努力を頼りにしています。

**VTB 銀行 頭取 Andrei Kostin:**

大統領、演説の中で、ここで昨日や今日出された多くの質問、財政均衡の予算や、増税の可能性、長期ローン、ロシア政府による通貨取引や資本移動の制限などについてお答えいただきました。これらは私たちが 2 日間に亘り案じていたことです。しかし、まだほかにも質問があると思います。よろしかったら、質疑応答に移らせて頂きたいのですがいかがでしょうか。

**プーチン大統領:**

宜しいですよ。今朝のスピーカーは誰でしたか？

**Andrei Kostin:**

経済開発大臣の Ulyukayev 氏と、財務大臣の Siluanov 氏、ロシア中央銀行総裁の Nbiullina 氏、スベルバンク頭取の Gref 氏です。

**プーチン大統領:**

私には、これらのスピーカーの皆さんが話したことに何を付け加えて話したらよいのかわかりません。皆さんがご存知のように、彼らこそがロシアの経済政策を形成し実施する人たちなのです。彼らは何年もこれに携わっています。

**Andrei Kostin:**

彼らは議論を続けてきましたが、プーチン大統領、あなたが最後のスピーカーなのです。

**プーチン大統領:**

分かりました。私ができることは、全てが考えられているよりもうまく行っていると微笑んだり、そんなことは起こらないとしかめ面をすることですが。この調子でいきましょうか。(笑い)

**Andrei Kostin:**

まだ何か質問がございますか。

**プーチン大統領:**

最初に私は、常にコンタクトを取っているロシアの皆さんや、協働や話をするためにここに参加して頂いた海外の皆さんに対し感謝いたします。私は全ての計画が、最も効率的な方法で実施されることを望んでいます。

さて、これに時間を費やす必要はないのですが、明らかにしておきましょう。いわゆる「制裁」は、それを行った国がビジネスに制限を設け、競争力を引き下げ、ロシアという



期待される市場における機会を閉ざしていることを勘案すれば、ばかげたことです。私たちは冷静にこれを受け止めています。私たちが WTO や、国際経済や国際競争の基本的原理の侵害や、国際的な金融機関や、ドルやユーロなどの基軸通貨の崩壊を見なければならぬことは恥ずべきことです。これは一見ではわからない長期間の損害を国際経済にもたらします。

私は、私たちがこの誤解された期間を克服し、世界経済が着実に発展する期間に入っていくことを望みます。ロシアは、その共同活動に貢献する用意があります。

#### 質問：

私は、スウェーデンの投資会社の役員の Christopher です。私の会社は、10 億ドル相当の投資資産をロシアの電力部門に投資しています。私の質問は、外部の地政学的変化の観点からより重要になっているピレリ社の冬用タイヤのように、どのように初期投資をうまく用いて革新的な技術を導入できるのかということです。大統領は演説でその必要性を語られました。私は、2012 年 5 月の大統領令で定められた、例えば投資を GDP の 27% まで引き上げると言った目標は、現在の環境下では控えめに思えるのです。

この投資による現状打破は、主に国有企業に対して行われるのでしょうか、それとも、民間部門に対して行われるのでしょうか。生産性や高率性の観点からは民間部門に集中させた方が良いと思えるのですが、何千という事例の中から一つの例を選んでみますと、例えば、政府の計画の実施は、地域の民間電力会社に対して行われるのでしょうか、それとも地域を超えた大規模な送電会社に対して行われるのでしょうか。

#### プーチン大統領：

これは、とても専門的な質問ですね。そしてタイミングの良い質問です。何故ならば私は新しいことは言おうとは思わないからです。私は、私たちがいつでも民間投資を誘致することに集中し、今後もそうするつもりであると繰り返します。しかし、これは特別な条件を必要とします。それには、インフラ開発への投資を含む一定額の国による投資も必要なのです。

民間部門への国によるインフラ開発投資が行われない経済には問題があるということは常識です。インフラ投資は費用がかかり非効率なものとなるため、民間投資は困難となりほとんど実現不可能になります。従って、インフラに対する投資という国の役割が必要とされるのです。

あなたの活動分野はとても儲けが多く、私たちの投資家に対する義務を思い出させます。これは、あなたの会社ばかりでなく、他のスカンジナビアの会社や中央や西ヨーロッパの会社など電力システムに投資を行った全ての企業に対しても当てはまります。私たちは、電力市場の自由化という私たちの義務を忘れていません。

私はあなたが私たちの全ての議論を認識し、私たちが 2008 年から 2009 年の出来事を思

い出しながら少しずつ進まなければならないことを御存じだと思います。しかし、私たちは、あなたが話された電力網の民営化も含めて、この方向に動くことを継続します。

**Andrei Kostin:**

大統領、Christopher 氏は確か元英国外交官だったと思います。彼はロシアをとっても気に入ってここに留まっているのです。

**プーチン大統領:**

一生諜報機関で働くことはできません。この私も就職先を変えました。

ヘンリー・キッシンジャーは、私がとても尊敬している興味深くとても賢い人ですが、かつて私に言いました。私たちは、1990 年代にサンクトペテルスブルグの空港で会いましたが、彼は私が前にどんなところで働いていたのか尋ねました。私はどこで働いているのか説明しましたが、どの機関で働いていたのかは言いませんでした。彼は質問し続け、最後に私は彼に「ソ連の諜報機関で働いていた。」と言いました。すると彼は、「全てのまともな人材は諜報機関からスタートする。私もそうだ。」と言いました。

**Andrei Kostin:**

ありがとうございます。では 2 番目の質問です。

**質問:**

過去 3 年間、経済成長率は 2012~2018 年の計画を下回っています。この計画は達成できるとお考えですか。そうでなければ、政策判断を行う際にどのような予想を用いていますか。

**プーチン大統領:**

私たちの目標は変わりません。しかし、自然にいくらかの補正が行われるものであり、そして今疑問が起こっているのです。私たちはこの目標を 2012 年の半ばに決めました。当時のロシア経済の成長率を考慮すれば達成できると考えられたのです。今、その比率は私たちが見積もっていたものに合致しなくなっているのです。しかし、そのために私たちはこれらの政策的な目標を変えなければならないのでしょうか。そんなことはありません。

15 年前を思い出してください。私たちは 10 年間で GDP を 2 倍にする必要があると言っていました。当時、それはとてもありえないと思われました。多くの人々が「そんなことは不可能だ。」と私たちを笑いましたが、私たちは成し遂げました。もちろん現在、ロシアばかりでなく世界経済にも異なった趨勢がありますが。

ここにいる大臣や中央銀行総裁が経済サイクルや構造的制限についてお話ししたと思いますが、誰も 100% 予想することはできないというのが真実なのです。

私は、「石油価格はどの程度か」と言う論点が提起されたか知りませんが、私たちの予算

は1バレルあたり96ドルのベースで検討されています。今後起きることについて、国際的なエネルギー産業に対するリスクは、例えば中東で起きているような政治的リスクから生じてきます。誰も予見することが出来ません。私たちは目標を不変としますが、一方で、それを達成するための方策を探したり、その他の方策を用いて目標に近づこうとします。

私たちの目標は何でしょうか。それは良く知られた、ロシア経済を非官僚的なものに変え、ロシア国内や海外の民間投資を惹きつけるためにビジネス環境を改良し、条件を整えることです。ロシアの産業や起業家連合のトップの Shokhin 氏は良くご存知です。彼が常に私たちのためにこの目標を設定し、私たちがその課題を解決しようとしています。うまく行かない時もありますが、非常に満足のいく時もあります。私たちはこの方法でやっていきます。

私はただ、私たちが、国の資産の民営化を含めた主要な数値を達成することを疑っていません。2015年から2017年までのロングリストをご覧ください。もちろん私たちは最終決断を行う際に、個々の部門の市場の状態を勘案する必要がありますが、それでも私たちはこれを行います。

私たちのいくつかの目標を定めた2012年の大統領令について言及され、「状況が変わったのか」と質問されましたが、その通りです。変わったのです。選挙前の私の論文や関連する大統領令をご覧ください。私は民営化を推進すると言っていました。特に電力会社については2重括弧で囲っていました。

現在、状況は変化しました。私はこの方針に留まるべきか解りません。さらに、私たちは今、国家のコントロール下にある最大のエネルギー企業の膨大な株式の市場への公開を検討しているのです。私たちはこれらの解決策を見つけ出し、積極的に前進して行きます。

#### **Andrei Kostin:**

ありがとうございます。では次の質問をお願いします。

#### **質問:**

私の質問は中央銀行についてのあなたの見解です。私たちは現在困難な状況にあります。経済成長は僅かであり、インフレ率は非常に高いです。中央銀行のコメントを聞いたところでは、彼らはインフレ率を引き下げることが重要であることを認識していることは明白です。インフレ率の引き下げという将来の目標は、歴史的に見ても最低限必要なことです。現時点で、インフレ率の引き下げは、中央銀行の主要な目標といえますか。

#### **プーチン大統領:**

ロシアを含む各国の中央銀行の主な目的は、国の通貨の安定性を保つことです。インフレ率の引き下げ無しにそれを行うことは不可能です。

私が述べた他のことに加えて、私は過去10年間、とても厳しくマクロ経済の原則を実行して来ました。もちろん、私たちは実務の現状に基づいて仕事を行い、今日も同様にして

います。しかし、私たちはこの原則から逸脱しないようにしています。私は今日、いわゆる予算規則に忠実に従っていくと申し上げました。私たちは政府の支出をやみくもに増やそうとはしません。

インフレ率の急上昇については、経済制裁に対して私たちがいくつかの諸国からの食糧輸入を制限したことが最も関わっていると考えられます。これについて不都合な面があるでしょうか？もちろんあります。しかし私はこれが一時的なものであると強く確信しています。

これは、政治的ばかりでなく経済的にも農業分野への投資に対する素晴らしい刺激となります。私の中国の友人はかつてロシアの農業は、投資の対象になりうると言っていました。なぜでしょうか？なぜならそれは安定したリターンをもたらすからです。投資は、ロシアの農業の発展の励みとなる事でしょう。

私たちはすでに過去数年間においてかなりの進歩を遂げています。昨年、ロシアの農業部門は6.2%成長しました。私たちは鶏肉と豚肉の輸入に対する依存度を大幅に引き下げました。牛肉については、まだ26.5%という高い輸入依存率ではありますが、私は農業部門において成長の可能性があると信じております。ここについては悲観していません。

もちろん、私たちは、独占禁止に反する行為や不当利益による市場のアンバランスを注意深く監視しなければなりません。これは言うまでもないことです。私はこれが一時的な現象であると確信しています。一方、中央銀行の政策は究極的な安定であり、中央銀行はどのような教義（ドグマ）にも縛られません。市場介入が求められ、彼らはそれを行いました。彼らの政策は一貫しており極めて柔軟です。

**Andrei Kostin:**

ありがとうございます。銀行家ですら中央銀行には不平を言っていません。

**プーチン大統領:**

彼らは不平を言っていますよ。誰もが不平を言っています。彼らは中央銀行に対しても財務大臣に対しても不平を言っています。金利が高いとぼやいています。彼らはいつでも不平を言っているのです。

**Andrei Kostin:**

ありがとうございます。では次の質問をお願いします。

**質問:**

私は米国から来た Michael です。大統領、あなたは経済制裁についてお話しされましたが、制裁の影響によってロシアの資金コストが上がっています。これは国際的資金が協力することが困難になっていることを意味しています。あなたは、政府がこの課題についての解決策を見つける手助けをするべきだとお考えですか。一つの解決策は、国内の資金市場を活発化して国債市場をより流動的、大規模にすることだと思います。これについてはどのようにお考えですか？

**プーチン大統領：**

あなたの政府は財政緩和政策の道を歩んでいます。多分それは正しいことでしょう。しかし、それは米国が米国ドルと言う最も重要な製品を生産できるからです。ロシアはドルを印刷することはできませんから、慎重に取り組む必要があります。

国債市場については、財務大臣はすでに国債を発行しています。しかし、金融部門が政府から国債を購入したがるため、国内市場におけるそのボリュームを注意深く監視する必要があります。ただし、これは市場の流動性を取り除くことになり、ロシア経済の実態に問題を引き起こしかねません。

私たちはこれに留意します。私たちは国債を発行して国の借入金を少し増やすことになります。国債の発行残高は歴史的に非常に低い水準にあります。私たちは慎重に取り組みます。結局のところ、流動性資金の増加やその他の金融的な手法を用いても成長にはつながらず、ロシア連邦経済の構造改革によってのみ成長が見込まれるのです。

**Andrei Kostin:**

ありがとうございます。では次の質問をお願いします。

**質問：**

私はフランス人で Cedric Etlicher といいます。中小銀行の取締役で在ロシア仏人会の代表です。

この 2 日間私たちはマクロ経済について議論して来ました。ロシアで活動する中小企業としては、ロシアのマクロ経済に興味があります。私たちは最近、ロシアの様々な地方の村や町で生活水準の改善や節約を行うことに関する仕事をしています。ここでは、補助や理解、助けようとする意志が不足していると感じます。

例えば、私たちは今、町が電力代を削減するプロジェクトを手伝っています。私たちの銀行はガスや電気のように派手なものではありませんが、多額の税金がかからないことにより町の生活を改善できるというプロジェクトに携わっています。

次の分野は農業です。ここでは小規模生産者との仕事がとても面白いです。ロシアは 8 月 8 日に関連する経済制裁を始めました。私は、10 年以上ロシアに滞在する中で、フランスからの輸入や、フランスから製品を持ってくことや、輸出者をお手伝いして来ました。私たちは良い品を探す必要があります、それを見つけてきましたが、今では私たちは全ての地

方政府に対してその地域の小規模生産者を助けることを勧めなければなりません。

私はアルタイ地域を訪問しましたが、彼らは「肥料を購入するお金がない。」と嘆いていました。私は、「彼らを助けよう。生産物はオーガニックや無農薬野菜として売れる。」と言いました。

今日多くの仕事を創造しているマイクロ経済のネットワークを助けて、店の棚をいっぱいにすることは可能でしょうか。私たちはそれに対する援助を認識できません。援助が必要とされていると思います。

#### **プーチン大統領：**

正直なところ、私はそれがどのような問題なのか十分に解りません。これは全て資金に関することだと思います。VTB 銀行は豊富な資金を有しています。彼らはどこに資金を投資すべきか、どこに良いプロジェクトがあるのか解っていないのです。誰もがお金がないと嘆いていますが、どこに良いプロジェクトがあるのでしょうか。誰もが良いプロジェクトを探しています。

中小規模のプロジェクトについては、たしかに私たちはロシア経済のこの分野に対して借りがあります。私たちは必要な道具は揃えてきましたが、不幸なことに彼らには政府の資金が充分なかったのです。私たちは小規模ビジネスを助けるためのファンドを増やし、彼らを助けるメカニズムを改善し、様々な報償を与える必要があります。これは連邦政府だけに当てはまるものではありません。地域や市町村の政府はより活発に活動しなければなりません。確かに、あなたの言うとおりに、問題がたくさんあります。

これについて、我が国には生産的であると見なされる地域もいくつかあります。それについて私は言及しました。しかし、残念ながらまだ何かをしなければならない地域もたくさんあります。これが、地域や市町村政府チームの効率性を向上させるために、私たちが実業界と協働している理由なのです。このようにして、私たちは中小ビジネスの発展のために、彼らが築いた状況に影響を与えようとしています。

もちろん、私たちは小規模ビジネスのためにマクロファイナンスを開発する必要があります。私たちは今までそれを充分行ってきませんでした。私たちは、それを今行い、インド人によって創造され現在多くの国で行われているスキームを開発して行く必要があります。これは多くの分野で利用されノーベル賞を受賞しています。悲しむべきことに私たちはこの分野では十分対応して来ませんでした。そしてこれは私たちの経済の大きな発展の可能性を伴う方向性です。

あなたが提案された特別なプロジェクトについては、仲介者にあなたと連絡を取りあうように依頼します。

#### **Andrei Kostin:**

私も、アルタイ地域のバイオ肥料開発に私たちが資金を投資することを約束します。

**プーチン大統領：**

これは重要で興味深く将来性のある分野の仕事ですね。

**Andrei Kostin：**

それでは、次の質問をお願いします。

**質問：**

ドイツから来ています。ロシアは今年、アジアやラテンアメリカとの経済協力を強化するために多大の努力をされました。これは欧米よりもこの地域との結びつきを発展させようという長期の戦略でしょうか、それとも現在の状況に関連した一時的なものでしょうか。

**プーチン大統領：**

あなたは、世界情勢に詳しいですね。ここにいる方々は皆今日アジアが非常に速く成長していることを理解されています。インドの友人や中国の友人が、私が到着する前にここで話をされました。私は、中国の投資ファンドの代表者が中国の投資ファンドの可能性やチャンスについて説明した時に全ての聴衆を魅了したことと思います。

皆さんがこの種の数値を聞かれた時に、皆さんは、「どうしたら中国の成長を私たちの経済に取り込むことが出来るであろう。」と自問自答し始めたことと思います。ロシアもこのように考えています。そしてこの考えは昨日、経済制裁や政治的緊張によって始まったものではないのです。これは長い間私たちの考えにありました。

私たちは何故上海経済協力機構を設立し、BRICS グループを創生したのでしょうか。BRICS はどのように始まったのでしょうか。それは 2005 年に遡り、サンクトペテルスブルグで G8 サミットが開催された際に中国やインドの代表と共に 3 者会談を開くことが同意されたのでした。私たちは会談し、それが BRICS の始まりでした。最近の会合にはブラジルや南アフリカも参加しましたが、そこで何が話し合われたのでしょうか。

私たちは共同の通貨準備基金と銀行を創立することに同意しました。私たちは、各国の通貨の安定と、共同の大規模プロジェクトの開始を見込んでいます。これは意図的な選択であり、昨日や昨年始まったものではありません。世界経済で活動している開発の傾向に合わせたものです。

しかし、経済制裁が、私たちに現在行っている努力を加速するよう強要しました。普通と違うことは何もありません。私たちはヨーロッパとのような伝統的な関係を縮小しようとはしません。EU は 4,300 億ドルを超える私たちの最大の貿易相手なのです。これが現在の状況です。しかし、私たちは将来も見なければなりません。

**Andrei Kostin：**

それでは、次の質問をお願いします。

**質問：**

ウクライナについてお尋ねします。あなたのお考えでは、どのようなシナリオがロシアの国益に合致するとお考えでしょうか。ロシアは何を求めているのでしょうか。

**プーチン大統領：**

ウクライナが政治的、経済的な危機から抜け出す方法を探し出すのを手伝うことは、ロシアの国益でもあります。私たちはウクライナがかなりの政治的、経済的危機にあるとみています。ウクライナの経済や、政治、社会部門を立て直すことは私たちの関心事です。私たちは信頼のおける予測可能なパートナーや隣人を望んでいるのです。

ウクライナは、私たちにとってなじみがなく無関心でいられる国ではありません。何度も言いましたが、現在の悲劇が（特に南部で）展開していても、私たちの目にはウクライナ国民は、最も親しみのある国民であり、今後もそうであります。私たちは民族的、精神的、歴史的な絆で結ばれているのです。私は私たちの協力を発展させ、将来の関係を築き、この状況のためにできることをすべて迅速に行うためにこれらの基盤を用いることが出来ることを望んでいます。

私はウクライナの国会議員選挙がうまく運び長く待ち望まれていた政治の安定がついに始まることを望んでいます。しかし、私は、私たちの立場は、国際法やウクライナ自身の法律で定められているように、ウクライナにいるすべての人が、国のどこにしようとも、同様に全権利を保有するべきであるということも言わなければなりません。誰もが言語や民族や宗教の背景によって差別されるべきではありません。これが国の領土の整合性を保ち、統一を保持し、社会経済的な発展を保証するための唯一の方法なのです。私たちはそのようになることを強く望み、その助けのために全力を尽くします。

**質問：**

私の質問は、Bashneft（バシネフチ ロシアの石油会社）の訴訟についてです。この訴訟では、資産が違法に民営化されたので、没収して国に戻すべきであるという申し立てが行われました。

あなたは、過去何度も民営化の手続きには多くの重大な不備があり、実際に公正でなかったと言われています。また、オルガルヒは理想とは程遠いものだとも言っています。あなたの考えに反対することはとても困難です。それでも、あなたは私たちの経済の発展に関して、過去を穿り返すことが良いことだと思われませんか。

この出来事は 10 年前に行われたことであり、20 年以上も前のことが訴訟になることもあります。資産に疑いを持ち、実際に民営化で得た所有者ばかりでなく転売された所有者の資産まで没収するという事は賢いことなのでしょうか。

あなたが 2012 年の選挙運動の論文で述べたことは今でも事実でしょうか。論文の中であなたは、「民営化手続きが不正であったと世の中でよく言われているが、今資産を没収することは、ただ経済を停滞させ、ビジネスを麻痺させ、失業率を上げるだけです。」と述べて



います。

**プーチン大統領：**

これはもっともな質問です。もう一度、民営化手続きの大規模な見直しは行われたいということをはっきりさせておきます。しかし同時に、訴訟はその機能や質において異なるものです。もしも司法当局が資産の移動に疑問を抱いたとしたら、彼らが個別の訴訟について調査して判決を下すことを拒む権利は、私たちにはないのです。私は判決が民法や仲裁法に留まり、刑罰にかかわらないと思うのですが、私は干渉したり何らかの指示的なメッセージを送るようなことは行いません。もう一度言いますが、今まで起きたことが、政府が民営化手続きについて大規模な見直しを行う計画を有しているということの意味するということではないのです。

**質問：**

ロシアの企業が投資家にとって大幅に魅力的になることを目指した 2 つの国の政策の実施はどのようになっていますか。1 つ目の政策は経済開発省によって起案されたものでコーポレートガバナンスを改善する方策に関わるものです。2 番目の政策は政府の分析センターによって起案されたもので労働生産性の向上に関わるものです。何らかの理由によってこれらの政策についてはあまり公表されず、遅れています。これらは政策的な重要性があるのでしょうか。また、現在どのような段階にあるのでしょうか。

**プーチン大統領：**

経済開発大臣の Ulyukayez 氏が来ていましたから、彼に質問をすべきでしたね。私も彼にこれらの政策がどのようになっているか聞きたいところです。私もこれらは重要な政策だと思っています。

これらは成し遂げられなければなりません。重要なことはこれらが効率的、機能的であり、実現可能であるということです。私はすでに申し上げましたが、私たちは投資環境を改善するための新たな方法を探してそれを発展させ、経済におけるお役所仕事を排除し、起業のための良い条件を創造して行きます。皆さんはすでにこのシステムや利用可能な手段を御存じだと思います。それには、技術基盤の取組みや、地域がビジネスの開始を手伝うことへの連邦のサポートも含めた奨励、インフラ開発や特定のプロジェクトに関する金利の補助に関するコストを連邦政府に支払わせることなどが含まれます。

私は、私の同僚がプロジェクトファイナンスについて話をしたかどうか定かではありません。私は先ほど話しました。もう少し付け加えさせてください。特定のプロジェクトは経済開発省の承認プロセスを経ることとなります。このシステムが与える機会を活用することを覚えていてください。効率的で競争力のあるプロジェクトについては、ロシア中央銀行による政策金利プラス 1 % の水準で VTB やその他の類似の金融機関から資金を調達することが出来ることを連邦政府が保証する必要があります。

これは優れた手段ですが、実業界はそれがどのように機能し、どのような企業が利用すべきかなどについてまだ良く知らされていません。私はこれが今日の私たちの大規模開発の手段の一つになると考えています。私たちはご指摘いただいたプログラムについても取り組んでいきます。

**Andrei Kostin:**

それでは、最後の質問をお願いします。

**質問:**

大統領、あなたはすでに私がお聞きしたいテーマについてお話しされていますが、より詳細を確認させてください。インフラの独占事業や軍事産業以外の国の資産を売却するという民営化計画は、いまだにあなたの戦略の一部でしょうか、それともこの計画は多少なりとも変わったのでしょうか。

**プーチン大統領:**

先ほど述べましたように、これらの計画には若干変更があります。変更とは現在国が支配的な株式を保有している大規模エネルギー会社の資産売却に関することです。私たちは現段階で、国の支配的な株式の全部を売却する計画は持っていませんが、その一部の売却の可能性については検討しています。

それについて話すにはまだ早すぎます。私は政府がこの考えについて議論したかどうかは定かではありませんが、彼らが議論していなかったとしても遅かれ早かれ一般に知れ渡ることとなるでしょう。私たちはこれについて検討をしており、恐らく今年も続けられるでしょう。

実際、これは私たちの軍需産業の資産についても同じことです。私たちは状況について詳しく観察し、どのようにそれを行い、どの資産を開始するかを決めています。もちろん、これはこの産業の全ての企業に適用されるものではありません。一部の企業について資産の一部を民営化し市場で売却することも有り得ます。これがより良い成長環境を創造します。国が 3 兆ルーブル（およそ 760 億ドル）もの資金を軍需産業に投資しており、売却資金が翌年の予算で使われるという状況下ではなおさらそうです。

今年度、当初計画された支出の削減は全く行っていません。事実、産業界がまだ用意できていないために国の軍備プログラムの時間枠を引き延ばしています。これは、私たちに資金が無いというよりも産業界が用意できていない為です。従って、私たちはインフラ整備や軍需産業の開発に対してさらに投資を行って行きます。この部門で製造されるものの多くは二重の目的を果たす製品です。

民生製品は今日すでに軍需産業企業の生産の 4 分の 1 を占めています。これらの企業をより柔軟に、効率的に、競争的にするために、これらの企業のいくつかが増資を行い株式市場にリストアップされることの可能性について検討が行われています。

本日、皆様が示して頂きましたご関心と、興味深い討論につきまして感謝いたします。  
皆様のご成功をお祈り申し上げます。

以上